

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	基礎国語	前期2単位	6	6	4

◇科目の目標

文章読解のための基礎的事柄を確認しつつ、正確に読解する力をつける。さらに、自分の考えをまとめ表現する力をつける。

◇科目の概要

国語の基礎的事柄を学習し、国語総合の学習につなげる橋渡しの科目です。

◇学習の進め方

必ず、辞書と便覧を手元に置き、レポートの問題に一つ一つ丁寧に取り組んでいきます。教科書はありませんので、学習資料を使いながら学習を進めていきます。

◇履修にあたっての留意点

現代文の作品は声に出して読み、わからない漢字にはチェックを入れるなどし、必ず予習をしてきてください。また、意味のわからない語句や漢字がわからない語句があればすぐに辞書をひく習慣を身につけましょう。

◇使用教科書・副教材 学習資料・新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	学習資料ページ
1	4月25日・26日	漢字の学習 ことわざ・故事成語の学習	P1～2
2	5月2日・3日	口語文法の学習 品詞の学習	P2～6
3	5月23日・24日	現代文の学習①（評論文） 慣用句の学習	P6～8
4	6月27日・28日	古文の学習 漢文の学習	P8～10
5	7月4日・5日	敬語の学習 原稿用紙の使い方	P10～12
6	7月18日・19日	現代文の学習②（随想）	P13～15

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポートの評価、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	現代文 B①	前期 2 単位	6	6	3

◇科目の目標

さまざまなジャンルの現代文を読むことを通して、思考力を伸ばし、問題意識をはぐくみ、豊かな感性を養う。

◇科目の概要

より高いレベルの文学作品を鑑賞し、また、評論文や小説、エッセイなどの正確な読み取りができるようにする。

◇学習の進め方

筆者・作者は何を言おうとしているのかを常に考えるようにして下さい。また、学習書や辞書も活用し、わからない語句は調べながら読解してください。

◇履修にあたっての留意点

いろいろなことに対してなぜなのかと考えたり、知らない事柄や言葉を調べたりすることも大切な学習です。各自の自発的・積極的な取り組みを望みます。

◇スクーリング計画

回数	開 講 月 日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4 月 25・26 日	「わたしはあなただったのかもしれない」 「コミュニケーションの文化」	p. 8～ p. 120～
2	5 月 2・3 日	「情けは人の……」 詩「こころ」	p. 70～ p. 252～
3	5 月 23・24 日	「話をきかせて」	p. 206～
4	6 月 27・28 日	「山月記」	p. 349～
5	7 月 11・12 日	「名所絵はがきの東西」 「記憶のゆがみ」	p. 129～ p. 234～
6	7 月 25・26 日	「僕らの時代のメディア・リテラシー」	p. 267～

◇テスト範囲

中間	レポート①②③	期末	レポート④⑤⑥
----	---------	----	---------

◇成績評価の方法

レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価します。

◇使用教科書・副教材 標準現代文 B (第一学習社) 改訂版標準現代文 B 学習書 (NHK 出版)  
新国語便覧 (第一学習社)

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国 語	現代文B②	2	6	6	3

【科目の目標】

国語総合・現代文B①の内容を発展させ、文章の読解力を養い、言葉への意識を高め、言語文化の教養と幅広い思考力を身につけ、社会生活を送るための一助とする。

【科目の概要】

基本的な文章読解力を身につけ、それを高める。

【履修にあたっての留意点・学習の進め方】

本文全体を何度もよく読む。重要事項等を教科書へ直接書き込むとよい。  
言葉の意味を押さえ、ゆっくりと丁寧に内容を考える。自分で考えることで読解力は高まる。  
レポートはゆっくり丁寧に取り組む。

【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10月10日 10月11日	提10月19日 合10月26日	「私という自分」 「食と創造力」	P 15-P 21 P 198-P 205
2	10月17日 10月18日	提11月04日 合11月18日	「バグダッドの靴磨き」	P 293-P 307
3	11月07日 11月08日	提11月11日 合11月18日	「ヒトはなぜヒトになったのか」 「物語を発現する力」	P 49-P 57 P 241-P 249
4	12月05日 12月06日	提12月16日 合12月23日	「短歌と俳句」 「折々のうた」	P 112-P 119 P 308-P 315
5	12月19日 12月20日	提01月06日 合01月27日	「ころ」	P 152-P 179
6	01月16日 01月17日	提01月20日 合01月27日	「経験の教えについて」	P 316-P 325

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業への取り組み等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：第一学習社『高等学校 標準 現代文B』  
国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国 語	古典B①	2	6	6	3

【科目の目標】

基礎的な古文の読解力を身につける。  
また、さまざまな教材を通して伝統文化を学び、作品読解により、ものの見方や考え方を広げる。

【科目の概要】

これまでの学習を基礎に、より多くの古典教材に親しみ、読解力と理解力を高める。

【学習の進め方】

まず教材本文をきちんと読めるようにする。  
言葉の意味・言葉のつながりを意識し、現代語訳ができるように努める。

【履修にあたっての留意点】

古文の読解には時間がかかります。同じことを繰り返し学習することが大切です。  
また、細かいことまで学習しなければなりません。根気よく学習してください。

【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	04月25日 04月26日	提05月11日 合05月18日	古文読解の基礎（古典文法）	文法テキスト P7-p98
2	05月09日 05月10日	提05月20日 合06月10日	説話：『十訓抄』『唐物語』 和歌：『万葉集』	P12-13 P98-99 P50-52
3	05月30日 05月31日	提06月03日 合06月10日	物語：『竹取物語』 『伊勢物語』	P18-21 P26-27
4	06月27日 06月28日	提06月29日 合07月13日	漢文：漢文学習の基礎・故事 漢詩・『老子』	P168 P216 P184・186 P222
5	07月11日 07月12日	提07月20日 合08月19日	随筆：『枕草子』・『方丈記』 『徒然草』	P62-63 P66 P42-43 P34
6	07月25日 07月26日	提07月29日 合08月19日	日記：『更級日記』 物語：『源氏物語』	P70-71 P134-136

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】 教科書：第一学習社『高等学校 標準 古典B』  
文法書：桐原書店『基礎から学ぶ解析古典文法』  
国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	古典B②	2	6	6	3

#### 【科目の目標】

古典の基礎知識を活用しながら古典に自ら触れることにより日本の伝統文化を学び、ものの見方や考え方を磨き、より豊かな人間性確立の一助とします。

#### 【科目の概要】

これまでの学習を基礎に、より多くの古典教材に親しみ、読解力と理解力を高めましょう。

#### 【学習の進め方】

まず、本文がきちんと読むことができるように練習します。次に、文法・古語の知識を活用しながら自ら現代語訳をつくりましょう。最後に、テキストの全体を通した内容理解を深めます。

#### 【履修にあたっての留意点】

長い命を持つ古典作品は多くの人々に大事にされ読み継がれたものです。しかし、時代が離れているだけに、分かりにくいところも多いものです。ゆっくりと味わうつもりで学習を進めて下さい。

#### 【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書（学習書） ページ
1	10月3日 10月4日	提10月19日 合10月26日	古文学習の基礎・軍記物語「平家物語」 冒頭・随筆「枕草子」冒頭	P78(103) P60(74)
2	10月17日 10月18日	提11月4日	随筆「奥山に、猫またといふものありて」 (徒然草)「安元の大火」(方丈記)	P36(41) P44(53)
3	10月24日 10月25日	提11月11日 合11月18日	説話「小式部内侍が大江山の歌の事」 (古今著聞集)・和歌「古今和歌集」 「新古今和歌集」	P14(16) P56(68)
4	12月12日 12月13日	提12月16日 合12月23日	漢文の学習・「故事・寓話」	(214)P169(205)・ P171(209)・ P185(230)
5	12月19日 12月20日	提1月6日 合	物語「かぐや姫の昇天」(竹取物語)・ 日記「源氏物語の五十余巻」(更級日記)	P22(27)・P71(91)
6	1月16日 1月17日	提1月20日 合1月27日	物語「若紫」(源氏物語)	P137(170)

【テスト範囲】◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評価方法】◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教材】教科書：第一学習社『高等学校 標準 古典B』

文法書：桐原書店『基礎から学ぶ解析古典文法』

国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語総合①	前後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成します。また、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにするとともに、言語文化に対する関心を深め、学ぶ態度をはぐくみます。

◇科目の概要

国語総合①では、中学校までの学習の上に立って、現代を代表する著者による、さまざまなジャンルの現代文を読みます。

◇学習の進め方

レポートはもちろんですが、学習書の解説をよく読み、辞書や国語便覧で確認して幅広い学習をすることが大切です。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことが基本です。特に声を出して読むことを重視して下さい。また、漢字の書き取りドリルなど、繰り返し手で書いて覚えることも必要です。

◇使用教科書・副教材 新編国語総合（東京書籍） 学習書 新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日 前期 後期	授 業 内 容	教科書 ページ
1	4月25・26日 10月10・11日	現代文 随想 待つということ	110～113
2	5月2・3日 10月24・25日	現代文 評論 未来をつくる想像力 詩 二十億光年の孤独	56～62 70～71
3	5月30・31日 11月7・8日	現代文 小説 羅生門	80～94
4	6月27・28日 12月5・6日	現代文 短歌 その子二十 俳句 春風や	134～144
5	7月4・5日 12月12・13日	現代文 評論 美しさの発見	200～207
6	7月18・19日 1月9・10日	現代文 小説 沖縄の手記から	173～196

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国語	国語総合②	後期2単位	6	6	3

◇科目の目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

◇科目の概要

中学校までの学習の上に立ち、古典の入門から始まって、代表的な古文・漢文を鑑賞します。

◇学習の進め方

レポートはもちろんですが、学習書の解説をよく読み、辞書や国語便覧で確認して幅広い学習をすることが大切です。

◇履修にあたっての留意点

教科書をしっかり読むことが基本です。特に声を出して読むことを重視してください。また、歴史的仮名遣いなど、古文の基本を覚えることも必要です。

◇使用教科書・副教材 新編国語総合（東京書籍） 学習書（NHK出版） 新国語便覧（第一学習社）

◇スクーリング計画

回数	開講月日	授業内容	教科書ページ
1	10月3日・4日	古文 古文に親しむ 児のそら寝	246～ 253
2	10月17日・18日	古文 徒然草 亀山殿の御池に 奥山に、猫またといふもの	266～ 269
3	11月7日・8日	漢文 訓読の基本 故事 守株	318～ 325
4	12月5日・6日	漢文 唐詩 春暁 江雪 贈汪倫 論語	332～337 342
5	12月19日・20日	古文 折々のうた	282～287 295、296
6	1月16日・17日	古文 伊勢物語 芥川 筒井筒	298～303 295、305

◇テスト範囲

中間	レポート1/6～3/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。	期末	レポート4/6～6/6の範囲でテストを実施します。 詳細は「筑摩」で連絡します。
----	---	----	---

◇成績評価の方法

レポート、テスト、面接出席時間等から総合的に評価します。

教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国 語	国語表現 (前)	2	6	6	3

【科目の目標】

ことばのおもしろさを伝えることで、言葉への興味・関心を深めさせ、文章表現の基礎を身につける。  
さまざまな作文・小論文の課題を通じて、ものの見方や考え方を高め、世界観を拓げる。

【科目の概要】

ことばの理解を深め、文章表現の中での使用できる力を向上させる。

【学習の進め方】

言葉の意味・言葉のつながりを意識し、文章表現ができるように努める。

【履修にあたっての留意点】

国語表現の学習には時間がかかります。ただ書けばいいというものではありません。  
丁寧に学習をしていきましょう。根気よく学習してください。

【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	04月25日 04月26日	提05月11日 合05月18日	文章表現の基礎	教 P12-17
2	05月09日 05月10日	提05月20日 合06月10日	文章の書き方	教 P06-12
3	05月23日 05月24日	提06月03日 合06月10日	「わかりやすい説明」「エッセイを書く」 「スピーチの方法」	教 P18-19 P137-148 教 P46-49
4	06月27日 06月28日	提06月29日 合07月13日	「人とつながる言葉」	教 P52-P59
5	07月04日 07月05日	提07月20日 合08月19日	「小論文Ⅰ」	教 P24-P29 教 P36-P37
6	07月18日 07月19日	提07月29日 合08月19日	「小論文Ⅰ」	教 P30-P35

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：教育出版『国語表現』

国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』



教科名	科目名	単位数	レポート枚数	開講時数	必要面接時数
国 語	国語表現 (後)	2	6	6	3

【科目の目標】

ことばのおもしろさを伝えることで、言葉への興味・関心を深めさせ、文章表現の基礎を身につける。  
さまざまな作文・小論文の課題を通じて、ものの見方や考え方を高め、世界観を拓げる。

【科目の概要】

ことばの理解を深め、文章表現の中での使用できる力を向上させる。

【学習の進め方】

言葉の意味・言葉のつながりを意識し、文章表現ができるように努める。

【履修にあたっての留意点】

国語表現の学習には時間がかかります。ただ書けばいいというものではありません。  
丁寧に学習をしていきましょう。根気よく学習してください。

【スクーリング計画】

	開講月日	レポート締切日	授 業 内 容	教科書 ページ
1	10月03日 10月04日	提10月19日 合10月26日	文章表現の基礎	教 P12-17
2	10月17日 10月18日	提11月04日 合11月18日	文章の書き方	教 P06-12
3	10月24日 10月25日	提11月11日 合11月18日	「わかりやすい説明」「エッセイを書く」 「スピーチの方法」	教 P18-19 P137-148 教 P46-49
4	12月05日 12月06日	提12月16日 合12月23日	「人とつながる言葉」	教 P52-P59
5	12月12日 12月13日	提01月06日 合01月27日	「小論文Ⅰ」	教 P24-P29 教 P36-P37
6	01月09日 01月10日	提01月20日 合01月27日	「小論文Ⅰ」	教 P30-P35

【テ ス ト 範 囲】 ◇中間：レポート1/6・2/6・3/6 ◇期末：レポート4/6・5/6・6/6

【評 価 方 法】 ◇ レポート・テスト・面接出席時間数・授業態度等から総合的に評価する。

【教 材】教科書：教育出版『国語表現』

国語便覧：第一学習社『カラー版 新国語便覧』